

New Adventures

Expand your world.



Contents

- | | | | |
|----------------------------|----|---|----|
| ●長期（半年・1年）留学制度の特徴…………… | 2 | ●短期留学（海外語学演習）紹介…………… | 14 |
| ●長期留学をするために…………… | 3 | ●短期留学提携校…………… | 15 |
| ●2024年度 長期留学応募資格…………… | 4 | ●留学体験 Student Report ～ 2023年度送り出し留学生帰国報告～…………… | 16 |
| ●長期留学へのスケジュール…………… | 6 | ●New Challengers 2024 ～ 2024年度、新たなチャレンジャーたち～…………… | 18 |
| ●長期留学提携校紹介…………… | 8 | ●私達の日本留学記 ～ 2023年度受け入れ留学生による留学感想～…………… | 20 |
| ●外国語担当教員の紹介／各種外国語試験情報…………… | 13 | | |

長期留学制度の特徴

(半年・1年)

駿河台大学では、長期留学提携校として、
世界7カ国／地域・10大学と
交換・派遣留学協定を結んでいます。

提携大学との留学の形態は、
「交換留学」「派遣留学」の2種類があり、
留学期間は半年または1年です。
駿河台大学では、この長期留学制度を
利用する学生を、

①学業、②費用、③留学手続き・生活の
3つの面からサポートします。



駿河台大学の3つのサポート

1

**学業の
サポート**

4年間で卒業することも可能

- ◆ 留学期間も駿河台大学で学んだ年数に算入されるため、**4年間で卒業することも可能**です。
- ◆ 留学先での学習が駿河台大学の単位として認定され、**留学中も最大40単位修得することが可能**です。(留学前の履修登録、留学後の単位認定については、所属する学部の教務課で確認してください。特に、教職・資格課程履修者ならびに公認心理師資格希望者については、事前に担当教員に必ず相談をしてください。)

留学先の授業料を大学がサポートします。 さらに、往復の航空券・奨学金を支給。

- ◆ **留学先の授業料を大学がサポートします。**
海外の大学の授業料は通常年間200万円以上になることも珍しくありませんが、この長期留学制度を利用すると、**駿河台大学の学費を支払えば**、留学先大学の学費を駿河台大学が負担します。
※ただしパスポートやビザ申請等の留学前の諸費用、および宿泊(寮)費、食費などは自己負担となります。留学先にもよりますが、**年間150万円～400万円程度**と考えてください。
- ◆ **往復の航空券を支給します。**
渡航先によっても異なりますが、往復航空券は、通常20～60万円程度かかります。その往復の航空券も大学が用意します。
- ◆ **奨学金10万円を給付します。**
「駿河台大学留学奨学金」として、ひとり10万円を給付します。給付奨学金なので返還義務はありません。

留学決定後から留学終了まで教職員がサポート

- ◆ 留学先大学への願書提出や、住まいの確保、ビザの取得など、留学に伴う諸手続きはグローバル教育センター委員(教員)がサポートします。
- ◆ 留学事前指導(ガイダンス)を行い、安心して留学ができるようにします。
- ◆ 留学中には、駿河台大学の教職員が主にE-mail等を利用して留学をサポートします。留学中に起こった生活面、学業面での悩みも気軽に相談できます。
- ◆ 留学中には専門機関による危機管理サポートや海外健康サポートを受けることができます。24時間365日、日本語による相談が可能です。本人だけでなく、保証人様も利用することができます。

3

**手続き・生活の
サポート**

長期留学をするために

交換・派遣留学生として提携大学へ長期留学するためには、下記の応募資格を満たし、グローバル教育センターが実施する**長期留学選考**に合格しなければなりません。

なお、いきなり長期留学は不安もあると思いますので、まずは「海外語学演習」(P14)に参加してみることもお勧めします。

応募資格

I. 本学への学費が遅滞なく納入されており、今後も遅滞なく納入されること

II. 留学の時点で、本学において1年以上修学していること

面接選考は、留学する前年度に行います（1年次・2年次・3年次生が応募できます）。

※編入生の場合は、留学までに最低1年間駿河台大学に在籍していることが条件です。

※ロンドン大学 SOAS は、2年次生の派遣はありません。



III. 必要とされる語学能力が一定のレベルに達していること

【英語圏への留学】

大 学	TOEIC	TOEFL		IELTS	英検
		ITP *	iBT		
ロンドン大学 SOAS	×	×	52	4.0	×
カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	385	430	39	3.0	2 級
カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	385	430	39	×	2 級
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	385	430	39	×	2 級

※TOEIC、TOEFLのスコアはいずれも2022年4月以降に受験したものが有効です。

※実用英語技能検定は、2021年4月以降に合格した通知書のみ有効。なお、2級を取得している場合もTOEICやTOEFLの受験を強くお勧めします。

* TOEFL ITP試験は、Level. 1のスコアのみが有効です。

【非英語圏への留学】

該当する言語担当専任教員からの推薦書が必要です

言語	推薦要件	担当教員
ドイツ語	本学でのドイツ語関係の授業の履修に加え、「海外語学演習」などでのドイツ語学習の経験があること、もしくはドイツ語検定(4級以上)を取得していることが望ましい。	小林将輝 / 明石真和
フランス語	選考時にフランス語検定4級に合格できる程度の能力があることが望ましい。	山下尚一
中国語	「中国語演習」、「中国語と文化」を履修し、HSK中国語標準検定3級に合格していることが望ましい。	葉紅
韓国語	延世大学はTOPIK 4級、東西大学はTOPIK 3級の取得が原則的に必要。	朴昌明

IV. 各学部の定める応募資格を満たしていること

各学部では留学への応募条件として、各年次の必要単位数、学業成績などを定めています。

今年度の応募条件はP 4-5の通りです。所属する学部・学年の条件を参照してください。

2年次に留学
(1年次応募)の
場合

2024入学生

法学部

- a 1年次において40単位以上修得見込みであること
b 下記の科目を修得見込みであること

法学入門A	2単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
必修外国語科目	4単位
コース共通基礎科目	8単位

経済経営学部

- a 1年次終了時点において40単位以上修得見込みであること
b 1年次必修科目のうち下記の8単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	2単位
必修外国語 第2	2単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位

※上記以外の1年次配当必修科目の14単位〔基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学入門Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位)〕についても、修得しておくことが望ましい。

3年次に留学
(2年次応募)の
場合

2023入学生

- a 2年次までに80単位以上修得見込みであること
b 下記の科目を修得見込みであること

法学入門A	2単位
プレゼミナールⅠ～Ⅳ	8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
必修外国語科目	4単位
コース共通基礎科目	6単位

- a 2年次終了時点までに80単位以上修得見込みであること
b 1、2年次必修科目及び専攻基礎科目のうち下記の26単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	2単位
必修外国語 第2	2単位
選択必修外国語	2単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	8単位
専攻基礎科目	8単位
専攻基幹科目	4単位

※1、2年次配当必修科目の24単位〔経済・経営と社会(2単位)、プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(8単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学入門Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位)〕については、修得しておくことが望ましい。

※コース選択を意識して専攻基礎科目、専攻基幹科目を履修しておくことが望ましい。

4年次に留学
(3年次応募)の
場合

2022入学生

- a 3年次までに110単位以上修得見込みであること
b 下記の科目を修得見込みであること

法学入門A	2単位
プレゼミナールⅠ～Ⅳ	8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア教育科目群 (キャリア基礎Ⅰ・ キャリア実践Ⅰ含む)	6単位
必修外国語科目	4単位
ゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位
コース共通基礎科目	6単位

- a 3年次終了時点までに110単位以上修得見込みであること
b 1～3年次必修科目及びコース科目のうち下記の44単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	2単位
必修外国語 第2	2単位
選択必修外国語	2単位
キャリア教育科目	6単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	8単位
ゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位
専攻基礎科目	8単位
専攻基幹科目	8単位
専攻発展科目	4単位

※1～3年次配当必修科目の26単位〔経済・経営と社会(2単位)、プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(8単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位)、キャリア実践Ⅰ(2単位)〕については、修得しておくことが望ましい。

メディア情報学部

- a 1年次終了時点において36単位以上修得見込みであること
b 1年次配当科目のうち下記の必修科目を修得見込みであること

基礎教育科目群	8単位	メディアと情報資源、プレゼミナールⅠ・Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	
キャリア教育科目群	2単位	キャリア基礎Ⅰ	
外国語科目群	4単位	一般学生	英語表現Ⅰ・Ⅱ、第二外国語表現Ⅰ・Ⅱ
		留学生	日本語総合Ⅰ・Ⅱ、日本語表現Ⅰ・Ⅱ
専門科目群	2単位	マルチメディア論	

スポーツ科学部

- a 1年次生において40単位以上修得見込みであること
b 以下にあげる1年次必修科目を修得見込みであること

基礎教育科目群	8単位	必修5科目(教養基礎講座、プレゼミナールⅠ・Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ)	
キャリア教育科目	2単位	キャリア基礎Ⅰ	
教養基礎科目群	2単位	必修2科目(健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ)	
外国語科目群	第1外国語	2単位(留学生は4単位)	英語表現Ⅰ・Ⅱ(留学生は、日本語総合Ⅰ・Ⅱ、日本語表現Ⅰ・Ⅱ、)
	第2外国語	2単位(留学生は配当なし)	第2外国語表現Ⅰ・Ⅱ
専攻科目群	専攻導入科目	9単位	必修5科目(チームビルディング、救急処置法、スポーツ科学入門A・B、スポーツとキャリア)
	専攻基幹科目(実技科目)	1単位	専門実技(体づくり運動)

心理学部

公認心理師を志望している場合は、事前にFAに相談する。

- a 1年次終了時点において34単位以上修得見込みであること
b 下記の必修科目を修得見込みであること

人間研究の視点	2単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	計4単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
当該外国語の1年次必修単位「英語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)または「日本語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)(いずれか計4単位)	
心理学概論A・B	計4単位

- a 2年次終了時点までに72単位以上修得見込みであること
b 1、2年次配当科目のうち下記の必修科目を修得見込みであること

基礎教育科目群	4単位	メディアと情報資源、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	
キャリア教育科目群	2単位	キャリア基礎Ⅰ	
外国語科目群	6単位	一般学生	英語表現Ⅰ・Ⅱ、第二外国語表現Ⅰ・Ⅱ、外国語発展Ⅰ・Ⅱ
		留学生	日本語総合Ⅰ・Ⅱ、日本語表現Ⅰ・Ⅱ
			日本語発展Ⅰ・Ⅱ
専門科目群	14単位	プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、マルチメディア論、ソーシャルメディア論、メディア情報とキャリア	

- a 2年次において80単位以上修得見込みであること
b 以下にあげる1、2年次必修科目を修得見込みであること

教養基礎科目	10単位	必修7科目(教養基礎講座、プレゼミナールⅠ・Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ、健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ)	
教養発展科目	4単位	プレゼミナールⅢ・Ⅳ	
必修外国語科目	4単位	第一外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB	
	4単位	第二外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB	
選択必修外国語科目	2単位	選択必修外国語Ⅲ AB	
キャリア教育科目	2単位	キャリア基礎Ⅰ	
専攻導入科目	13単位	スポーツ科学入門A・B、救急処置法、トレーニングサイエンス、ヘルスサイエンス、スポーツ文化論、チームビルディング	
専攻基幹科目	16単位	運動生理学、スポーツの測定評価、スポーツ哲学、スポーツ社会学、スポーツ・バイオメカニクス、スポーツ教育学、スポーツ史、スポーツ・マネジメント	

- a 2年次終了時点において72単位以上修得見込みであること
b 下記の必修科目を修得見込みであること

人間研究の視点A・B	計4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	計8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア教育科目群で、「キャリア基礎Ⅰ」(2単位)を含む4単位以上	
地域科目群で、4単位以上	
当該外国語の必修単位 「英語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語発展Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)または「日本語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語発展Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)(いずれか計6単位)	
心理学概論A・B	計4単位
心理学研究法科目で、「データ分析Ⅰ」(2単位)を含む4単位以上	

- a 3年次終了時点までに108単位以上修得見込みであること
b 1～3年次配当科目のうち下記の必修科目を見込みであること

基礎教育科目群	4単位	メディアと情報資源、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	
キャリア教育科目群	4単位	キャリア基礎Ⅰ、キャリア実践Ⅰ	
外国語科目群	6単位	一般学生	英語表現Ⅰ・Ⅱ、第二外国語表現Ⅰ・Ⅱ、外国語発展Ⅰ・Ⅱ
		留学生	日本語総合Ⅰ・Ⅱ、日本語表現Ⅰ・Ⅱ、日本語発展Ⅰ・Ⅱ
専門科目群	18単位	プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、ゼミナールⅠ・Ⅱ、マルチメディア論、ソーシャルメディア論、メディア情報とキャリア	

- a 3年次において110単位以上修得見込みであること
b 以下にあげる1～3年次必修科目を修得見込みであること

教養基礎科目	10単位	必修7科目(教養基礎講座、プレゼミナールⅠ・Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ、健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ)	
教養発展科目	4単位	プレゼミナールⅢ・Ⅳ	
必修外国語科目	4単位	第一外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB	
	4単位	第二外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB	
選択必修外国語科目	2単位	選択必修外国語Ⅲ AB	
キャリア教育科目	4単位	キャリア基礎Ⅰ キャリア実践Ⅰ	
専攻導入科目	13単位	スポーツ科学入門A・B、救急処置法、トレーニングサイエンス、ヘルスサイエンス、スポーツ文化論、チームビルディング	
専攻基幹科目	16単位	運動生理学、スポーツの測定評価、スポーツ哲学、スポーツ社会学、スポーツ・バイオメカニクス、スポーツ教育学、スポーツ史、スポーツ・マネジメント	
演習科目群	4単位	ゼミナールⅠ・Ⅱ	

- a 3年次終了時点において102単位以上修得見込みであること
b 3年次終了時点において専攻科目群の未修得卒業要件単位数が12単位以下であること。
c 下記の必修科目を修得見込みであること

人間研究の視点A・B	計4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	計8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア教育科目群で、「キャリア基礎Ⅰ」「キャリア実践Ⅰ」(計4単位)を含む6単位以上	
当該外国語の必修単位 「英語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語発展Ⅰ・Ⅱ」(計2単位) または「日本語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語発展Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)(いずれか計6単位)	
心理学概論A・B	計4単位
心理学研究法科目で、「データ分析Ⅰ」(2単位)を含む6単位以上	
ゼミナールⅠ・Ⅱ	計4単位

長期留学へのスケジュール

4月～

留学する
1年以上前

Step 1

情報を集めよう。留学先を決めよう。

留学先を決めるときは、イメージだけで選ぶのではなく、留学先の国や大学についての情報も知っておいた方がよいでしょう。どんな国？各大学の授業はどんな様子？大学やキャンパス周辺の雰囲気は？寮やホームステイ先の住み心地は？勉強以外にどんなことができるの？などなど。「長期留学説明会」、「グローバル教育センターホームページ」、「交換留学生アンケート」、「ポタロウ」等で、情報を収集しましょう。

Step 2

長期留学の応募資格を充足しよう。

P4-5をよく確認して、応募資格を充足するように準備しましょう。GPAや修得単位も要件に含まれます。そのこともふまえ、しっかり履修登録をし、授業を受けるようにしましょう。特に英語圏への留学は一定の語学能力が定められています。選考書類提出時までには充足できるよう、計画的に準備しましょう。

6月～

Step 3

長期留学選考の日程を確認しよう。

長期留学選考は9月、11月、2025年2月の計3回行う予定です。留学先によって選考日が異なりますので注意してください。選考日程は、選考の2ヶ月くらい前に掲示発表します。

9月～

Step 4

長期留学選考を受けよう。

留学先大学によって選考日や必要書類が異なります。指定された期間内に必要書式を受け取り、必要書類を提出しましょう（締め切り厳守）。いずれの選考も書類審査と面接によって行います。何を学びたいか、なぜ学びたいか、留学の目的は何か、などを明確に話せるようにしっかり準備しておくことがポイントです。

合格発表後

Step 5

留学手続き・渡航準備を進めよう。

選考の結果、交換・派遣留学生に内定したら、さあ、いよいよ留学に向けての手続きや準備が始まります。手続きは、グローバル教育センター委員（教員）がサポートをしますので、よく相談しながら準備を進めましょう。

【注意点】

留学の費用（主に現地滞在費）について、行き先にもよりますが、年間で150万円（アジア圏）～400万円（アメリカ、ヨーロッパ）程度が自己負担で必要になると考えてください。

翌年4月

または

翌年9月

Step 6

いざ出発！

departure!



情報の集め方

A

長期留学説明会

駿河台大学の留学制度や留学先の紹介、長期留学選考の方法などを詳しく説明します。また、留学に必要な知識や選考に向けてどんな準備をしたらいいかなどのアドバイスも行ないます。「留学」に少しでも興味がある人は参加してみましょう。開催日が近づいてきたら、ポタロウ、グローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）等でお知らせします。

2024年度 第1回長期留学説明会

- 日程 4月24日(水)
- 時間 12:40~13:10
- 場所 グローバル教育センター
- 内容 長期留学制度の全体説明
(詳しいことはポタロウと掲示にて確認をしてください。)



B

国際交流イベント

留学先から帰国した駿大生、駿大にきている留学生との交流を目的としたものです。留学先の様子や文化や、生活の違いなど、積極的に話を聞いてみましょう。留学に行くことのできない学生にとっても、日本にいながらにして国際交流が体験できます。友達の輪を広げ、自分の価値観を広げるチャンス！



C

留学リーフレット “New Adventures”

長期留学の選考情報や、留学した学生からの留学報告など、留学に役立つ情報が載っています。グローバル教育センターで配付しています。



D

掲示板〈随時〉

選考情報や長期留学説明会・各種イベントの予定等はポータルサイト（ポタロウ）、またはグローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）にてお知らせします。マメにチェックをしてください！

E

オフィスアワー〈随時〉

外国語担当の教員は、外国語に関するアドバイスだけでなく、留学先大学に関する情報提供やアドバイスもしてくれます。「オフィスアワー」は教員が学生の様々な質問に答えるために設けられた時間です。教員ごとに曜日時間帯が異なりますので、まずはポタロウの「授業・履修」-「オフィスアワー照会」で、先生方のオフィスアワーをチェックしましょう！

F

グローバル教育センター ホームページ〈随時更新〉

留学・国際交流情報が充実！ グローバル教育センターが行っている学内の国際交流イベントの紹介、留学中の学生の留学便りなど、情報満載です。留学を考えている学生は、随時ホームページをチェックして、長期留学説明会や、国際交流イベントに積極的に参加しましょう！

G

グローバル教育センター (第二講義棟5階)

長期留学説明会、留学体験報告会や国際交流イベントの開催など、駿河台大学の留学・国際交流の情報発信基地としての役割を担っています。外国語学習の本や参考書もあります。気軽にセンターを訪れて、情報収集してください。

H

交換・派遣留学生 アンケート

過去に長期留学をした学生から提出された留学アンケートのファイルが、グローバル教育センターの本棚にあります。先輩たちの留学体験談をぜひ読んでみてください。

I

留学生との交流

留学生から聞いた日本に対する感想は、日本を知るいい機会です。また留学生の母国のことも聞け、視野も知識も友達の輪も広がります。日本にいながら国際交流ができます。国際交流イベント等で積極的に声をかけてみましょう。

長期留学提携校紹介

※2020～2022年は新型コロナウイルスの為、送出を中止しました。

駿河台大学では世界7カ国／地域
10大学と交換・派遣留学協定を
結んでいます。

英語圏



グレートブリテン及び 北アイルランド連合王国 (イギリス)

United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland



送出実績人数

大学名	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
ロンドン大学 SOAS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0

派遣留学



ロンドン大学 SOAS

School of Oriental and African Studies, University of London

ロンドン

Thornhaugh Street, Russell Square, London WC1H 0XG, UK



オックスフォード、ケンブリッジと並ぶ名門ロンドン大学の一部。アジア・アフリカ研究を専門とする高等教育機関としてヨーロッパ最大の規模を誇る。

基礎データ	創設:1916年(ロンドン大学は1826年) 学部:16Departments(アフリカの言語と文化、東アジアの言語と文化、中近東の言語と文化、南アジアの言語と文化、東南アジアの言語と文化、文化人類学・社会学、美術、考古学、開発学、経済学、地理学、歴史学、法学、言語学、音楽、政治学、宗教学など) 学生数:約5,000人		
環境	ロンドンの中心部ラッセル・スクエアに位置する都市型の大学。大英博物館、英国図書館に近く、ロンドン大学の様々な施設が近隣に立ち並び、きわめてアカデミックな環境にある。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	English Language and Academic Studies(ELAS) フレキシブルな Certificate/Diploma Programme。 9月、1月開講のコース。3ヶ月～半年の期間で学ぶ。クラスはIELTS4.5～7.0に相当する4つのレベルがあり、英語の勉強とセットで大学の授業の履修もできる。 IELTS準備コース、メディア研究等も選べる。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	大学の寮は基本的には9月から始まる1年契約であり、日本の春学期から行く場合は空きがある場合にのみ利用可能。大学近辺には下宿・アパートが多数存在し、なかには賄い付きもあり。 ● SOAS Hall of Residenceの場合(食事なし):£152-340/週 ● 民間の学生用アパートの場合(食事なし):£225/週		
派遣人数	全学部から若干名(3・4年次生)	派遣期間	9月～翌年3月

派遣留学



カンタベリー・クライスト・チャーチ大学

Canterbury Christ Church University

ケント州カンタベリー

North Holmes Road, Canterbury, Kent CT1 1QU, UK



ケント州最大の高等教育機関の一つで、ロンドンから電車で1時間程度の歴史的な街に位置する。学生は語学中心の留学か、語学+学部履修の選択が可能(後者の場合、申請前にIELTSの基準点をクリアしておくことが条件)。

基礎データ	創設:1962年 学部:人文科学、教育、健康福祉、社会科学の4学部 学生数:約17,400名(留学生は約1,500名)		
環境	イギリス南東部ケント州に位置するカンタベリーは、世界文化遺産のカンタベリー大聖堂があることで知られ、イギリス国内でも最も治安が良い街の1つとして知られている。大学のキャンパスは、歴史的な街の中心に位置し、聖堂にもほど近い。中世の雰囲気を残した街並みが特徴的で、観光客も多く、気候もよい。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	● 一般英語コース (General English) ● 一般英語・IELTS準備コース (General English with IELTS Preparation) 午前中の授業は一般英語コースと同じ。午後は、IELTSに特化した writingやspeaking等のクラスで構成されている。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	● 宿泊: ホームステイがキャンパス内・キャンパス付近の学生寮 ※ホームステイは時期により手配が難しい [ホームステイ] ※キャンパスまで30分以内の範囲 朝食とキッチン使用...£125～£118-195/週 [学生寮] キッチン共有、食事なし、ネット環境完備		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月



アメリカ合衆国

United States of America



送出実績人数

大学名	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	4	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	-	-	-	-	-	4	1	0	0	0	2

派遣留学



カリフォルニア州立大学

イースト・ベイ校 California State University, East Bay

カリフォルニア州ハイワード

25800 Carlos Bee Boulevard, Hayward, CA 94542, U.S.A.



風光明媚なサンフランシスコ湾東岸のヘイワード市にあり、きめ細かい指導で高い評価を得ているAmerican Language Programで集中的に英語を学ぶ。

基礎データ	創設：1957 年 学部：文理学部、経営・経済学部、教育学部、自然学部などの学士号課程、大学院（4 課程） 学生数：約15,000人
環境	サンフランシスコ湾東岸に位置するハイワード市の高台にあり、広々とした美しいキャンパス。キャンパスはサンフランシスコ国際空港より高速鉄道で約1時間の郊外に位置。 学生の課外活動も活発で、75を越すクラブが、スポーツ、芸術、文化活動に取り組んでおり、学内には体育館、スタジアム、美術館、劇場、コンサートホールなどがある。 留学中は日本語のできるスタッフがサポートしてくれ、現地学生と個人的に文化交流ができる“Speaking Partners Program”など、充実した補講制度もある。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	American Language Program (ALP) 「英語で」学んだり体験したりすることを重視したプログラム。学生の自発的な体験学習を促すためのカリキュラムや課外活動が豊富に用意されている。 ①Intensive English Program (IEP) 週に18時間の集中英語コース。いくつかのクラスから構成。授業は1クラス平均12名の少人数制。 【基礎科目】午前中は教室で、7つのレベルに分かれているWriting/Grammar, Listening/Speaking, Reading/Vocabularyをそれぞれ学ぶ。 【選択科目】午後は、“American Culture”, “Business English”, “Community Service”, “Hospitality Management”など、大学の初年次教育を意識した科目を選択できる。また、CSUEBは、月1回のペースで行われるIELTSの公式試験会場にもなっているため、IELTS試験対策クラスもある。 【Bay Area Experience】 担当教員から与えられた課題を5～6人のグループで協力し、Bay Area (サンフランシスコを中心とした地域)の様々な場所で体験学習する。 ②Visiting Student Program (VSP) 正規の学生が履修する一般科目を履修する。TOEFL71点またはIELTS6.0以上がプログラムに登録するための条件。1年の留学期間では、早くて3学期ないし4学期での履修を目指す。
宿舍、生活費(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内の学生寮 ●1年(食費込み)：US \$13,300 月々の生活費※参考 ●食費US \$100～500 ●通信費US \$0～50 ●交際費US \$100～500 (2024年度)
派遣人数	全学から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月

派遣留学



カリフォルニア大学

サンディエゴ校 University of California, San Diego

カリフォルニア州ラ・ホヤ

9500 Gilman Drive La Jolla, California 92093-0176



年間300日も晴れていると言われるほど天候に恵まれたサンディエゴに位置し、世界でもトップ50に入る名門校。広大なキャンパスにはユニークな建物が並び、近接した海岸ではサーフィンを満喫できる。世界中から集まった2000人以上の留学生と共に、落ち着いたキャンパスライフを送ることができる。

基礎データ	創設：1960年 学部：医学部が世界的にも有名。その他、社会科学、情報技術、人文学など200以上の専攻からなる。 学生数：約33,000人
環境	カリフォルニア州サンディエゴ市に隣接するラ・ホヤ地区に位置している。キャンパスは広く、太平洋に臨むキャンパスは2,141エーカー(8.6平方キロメートル)におよぶ。(キャンパスツアーはゴルフカートのような乗り物に乗って移動した)。UCSDは、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション誌の世界大学ランキングで34位(2022年)。研究大学として高い評価を得ている。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	日常英語を流暢に話したり理解する能力を伸ばしたり、アメリカ文化に関する知識を深めたいという学生は、8週間英語プログラム「コミュニケーションと文化プログラム(Communication and Culture Program)」が最適。プレースメントテストの結果に応じて、自分に合ったレベルで授業を受ける。 ●月曜日から金曜日、8：30～15：20 ●8週間、週20時間(最初の週はオリエンテーション、履修登録) ●すべてのレベルに対応(全11レベル、1クラス6-18名程度) ●中核クラスでは流暢に話し理解できるようになることをめざす。 ●日常英語/アメリカ社会と文化のコース ●幅広い選択科目。“American Music” “American Film” “Oral Presentation” “Idioms and Slang” “Pronunciation and Fluency” “American Culture” などアメリカ文化や英語学習を意識した14の選択コース ●2024年日程：春(3/11～5/10)、夏1(5/20～7/19)、夏2(7/29～9/27)秋(10/7～12/6)
宿舍、生活費(参考) ※変更する可能性あり	●宿泊：ホームステイかアパート ●費用【ホームステイ】6ヶ月(2食込み)：US \$7,800 【シェアアパート】6ヶ月(食事なし)：US \$7,800 月々の生活費※参考 ●食費US \$100～500 ●通信費US \$50～150、●交際費US \$100～300 (2024年度)
派遣人数	全学から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月

非英語圏



ドイツ連邦共和国

Federal Republic of Germany



送出実績人数

大学名	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
ミュンヘン大学	1	0	3	1	2	1	1	0	0	0	0

交換留学



ミュンヘン大学

Ludwig-Maximilians-Universität München

バイエルン州ミュンヘン

Geschwister-Scholl-Platz 1, 80539 München, Deutschland



ドイツ屈指の名門大学で、ノーベル賞受賞者も多数輩出している。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパス。

基礎データ	創設：1472年 学部：20学部（法、経済、経営、芸術、文学など） 学生数：約51,000人（留学生約5,400人）		
環境	キャンパスは、バイエルン州の州都ミュンヘン市の中心から徒歩15分。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパスが位置している。都会でありながら治安もよく、文化的な施設や催しも多彩。		
留学プログラム(参考)	大学の講義を受講できる。また、大学と提携しているドイツ語コース（2ヶ月）1回分を大学負担で受講できる。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	学生寮（2023年度調べ） 寮費：€350～€500/月に加え、敷金（1回のみ）€300～€400程度が必要。 ※寮は3月1日から確保。入居が遅くとも3月の1か月分の寮費が発生。 ※光熱費、インターネット費用含む。食事は無し。 保険：約€100/月＋日本で入る旅行保険も加わる。 その他、必要経費として共済費約€130/学期。語学コースに参加する場合（2回目以降）、1回あたり€795がかかる。 年間の生活費として、寮費、保険、食費、通信費、雑費など全てあわせて最低でも€10,000以上は必要。 エネルギー費用の高騰や円安の影響を受け、2023年度の実績と比べて全体的に費用が上昇します。		
派遣人数	全学部から若干名（2・3・4年次）	派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月

非英語圏



フランス共和国

French Republic



送出実績人数

大学名	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
アンジェ・カトリック大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

派遣留学



アンジェ・カトリック大学

Université Catholique de l'Ouest

アンジェ

3 Place André-Leroy B.P.10808 49008 ANGERS CEDEX 01 FRANCE



10以上の学科を有する私立のカトリック大学。本学からの留学生は、長年にわたりフランス語教育に定評のある、附属語学校CIDEF（外国人留学生のためのフランス語コース）に在籍する。

基礎データ	創設：1875年 学部：神学・歴史学・文学・語学・心理学・数学・エコロジー等、10以上の学科をもつ。 学生数：約11,000人		
環境	キャンパスは、ロワール川支流のメーヌ川に沿った古い歴史を持つ、フランスの落ち着いた典型的な地方都市アンジェ市にある。世界150以上の国から留学生を受け入れている。 1947年設立のアンジェ・カトリック大学附属語学校(CIDEF)は、フランス語教育に定評があり、現在、世界中より1,200名以上の学生が集まっている。大学や学生寮のパソコンを自由に使用でき、無料Wifiを利用できる。またホームステイでも無料Wifiの家庭を選べる。大学と学生寮のスタッフが連絡をとりあって、学生をサポートする体制が整っている。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	9月：1ヶ月間、夏期コース（フランス語集中講座）を大学負担で受講。フランス人学生がチューターとしてつき、フランス人学生との交流もできる。 10月以降：外国人留学生のためのフランス語コースを受講。フランス語の実力に応じて6段階に分かれる。中級より上のクラスになると、文明講座も受講可能となり、語学だけでなくフランス文化や歴史も学べる。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	宿舎またはホームステイ ●食事なし、キッチン利用可の場合 秋学期 1,526ユーロ、春学期 1,617ユーロ ●朝食＋週3回夕食＋キッチン利用可の場合 秋学期 2,245ユーロ、春学期 2,382ユーロ（2024年度）		
派遣人数	全学部から若干名（2・3・4年次生）	派遣期間	10月～翌年1月または10月～翌年6月

非英語圏



中華人民共和国

People's Republic of China



送出実績人数

大学名	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
聊城大学	4	0	0	1	1	3	1	0	0	0	0

交換留学



聊城大学

Liaocheng University

山東省聊城市 中華人民共和国山東省聊城市湖南路1号



中国は世界を牽引する国の一つ。山東省聊城市に位置する聊城大学は広大なキャンパスを有する総合大学である。キャンパス内に宿舍を含む諸施設が揃っており、勉学や生活にやさしい。

基礎データ	創設：1974 年 学部：25学部88学科(経済、管理、法律、文化、理科、工学、農学ほか) 学生数：約34,000人		
環境	聊城市は2000年以上の歴史を持つ文化都市で治安もよい。近年、大都市には薄れつつある中国らしさを肌で感じられる環境。大学には中国語教育センターが設置されており、教員が留学生のアカデミック・アドバイザーとして、サポートしてくれる。芸術系の音楽や絵画、書道、さらに体育系の授業も受講可能で、豊かな留学生活を送ることができる。		
留学プログラム(参考)	外国人のための中国語研修コース。正規の授業を受講できる。		
宿舍、生活費(参考) ※変更する可能性あり	東キャンパスにある留学生専用の宿舍 ●二人部屋 ●二人で共用するキッチン、冷蔵庫、バス・トイレ、洗濯機 ●Wi-Fi(別払い) 月々の生活費 ●食費~500元 ●交際費~100元		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	2月~7月または2月~翌年1月、9月~翌年2月または9月~翌年7月

非英語圏



台湾

Taiwan



2024年度より派遣開始

派遣留学



国立台湾師範大学

National Taiwan Normal University

台北市大安区和平東路一段129号



教員育成から成長した伝統のある国立総合大学の一つ。1967年に設立された大学付属の国語教学センターで年間1000名あまりの留学生が中国語を学んでいる。

基礎データ	創設：1967年 学部：教育学部、文学部、理学部、芸術学部、科学技術および工学、スポーツおよびレジャー学部など。学部ごとにさらに様々な学科に分かれている。 学生数：14,262人		
環境	大学のキャンパスは台北市の中心部にあり、地元の人々は親切で治安のよい街。地下鉄やバスの利便性が高く生活しやすい。国語教学センターは世界中からの学生を受け入れ、中国語学習のプログラムが充実している。		
留学プログラム(参考)	半年もしくは1年間台湾師範大学国語教学センターで受講する。ベテランの教員が少人数クラスで教える。語学力が規定のレベルに達した場合、正規科目の1科目を受講することができる。		
宿舍、生活費(参考) ※変更する可能性あり	大学に近い留学生宿舎に泊まる。三人部屋、NT \$ 10,222/月。二人部屋、NT \$ 15,333/月。 食費 NT \$ 9,000/月、交通費NT \$ 1,000/月 円安など為替の影響を受けて費用全般(2024年現在)が割高の傾向にある。		
派遣人数	全学部から若干名	派遣期間	派遣期間 9月~翌年2月または9月~翌年7月



大韓民国

Republic of Korea



送出実績人数

大学名	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
延世大学	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0
東西大学	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1

ヨンセ
延世大学

Yonsei University

ソウル 134 Shinchon-dong, Seodaemun-gu, Seoul 120-749, Korea



プロテスタントの宣教師により設立。韓国最古の伝統を誇る私立の一流総合大学であり、「ない学部がない」と言っても過言ではないほどの数多くの学部・学科が存在する。

基礎データ	創設：1885年 学部：文学、経済学、経営学、理学、工学、生命システム学、神学、社会科学、法学、音楽学、生活科学、教育学、国際学、医学、歯学、看護学、薬学などの学部があり、さらに細かく学科が存在する。 学生数：約18,200人		
環境	みどりに囲まれた静かで広い快適なキャンパスは、首都ソウル特別市の中心部から西北に約15分の場所の新村（シンチョン）にある。新村周辺は大学も多く、大変にぎやかな学生街。たまに映画やドラマの撮影が行われている。 留学生サポートシステムが整っており、希望者は、現地の学生との「言語交換（1対1で韓国語と日本語を教えあうこと）」プログラムに参加できる。また学生のくつろぎの場「Global Lounge」があり、マルチチャンネルのテレビ、インターネット、各国の資料が整備されている。		
留学プログラム(参考)	交換留学生向けの英語による授業と韓国語学堂が提供する交換留学生対象の韓国語学習プログラムが開設されている。1学期に履修登録しなければならない単位数は9～18単位である。先の履修登録可能科目には韓国語学堂の交換留学生対象韓国語学習プログラム（6単位）が含まれている。韓国語学習プログラムでは、学生の韓国語学力レベル別に授業が行われる。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内のSKグローバルハウスやインターナショナル・ハウスなどの留学生向け学生寮などがある。エアコン、バス・トイレ、テレビ室、コンピュータ室、食堂、洗濯室、売店などあり※希望者は、下宿やホームステイによる生活も可能。 学生寮は2人部屋で、1学期（15週）あたり800,000～900,000ウォン（約8～9万円）である。（2022年度）		
派遣人数	全学部から若干名（2・3・4年次生）	派遣期間	3月～6月または3月～12月、9月～12月または9月～翌年6月

ドンソ
東西大学

Dongseo University

釜山 47 Jurye-ro, Sasang-gu, Busan 47011, Korea



韓国第2の都市である釜山市内に位置する私立総合大学。経営、外国語、デジタルコンテンツ、映画芸術、映像マスコミなどの分野で高い評価を得ている。

基礎データ	創設：1970年 学部：経営、外国語、映像、メディア、社会福祉、観光、医療、スポーツなどの分野に学部・学科が存在する。 学生数：約9,700人		
環境	大学は地下鉄最寄り駅の令井（ヨンジョン）駅から路線バスで5～7分程度であり、釜山の中心街である西面（ソミョン）にも地下鉄を利用するとスムーズに行ける。日本語学科があるため、日本人留学生と日本語を学習する韓国学生との交流が積極的に行われている。近年の世界的な韓流ブームのなか、ITや放送の教育にも強く力を入れており、放送設備や演劇舞台などユニークな施設も豊富である。		
留学プログラム(参考)	韓国語で学ぶコースと英語で学ぶコースがあり、各々のカリキュラムが用意されている。本学と重複する学問分野（警察行政、経営・会計、日本語・日本文化、メディア【放送、通信、制作】、IT・デジタルコンテンツ、観光・ホテル、スポーツ等）を持つ。留学時は、日本語学科に在籍する学生と交流しながら韓国語と韓国文化に触れる学びが中心であり、関心のある専門講義を一部選択受講することも可能。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	1,200名が入居できる学生寮（原則として入寮可能）がある。2人部屋でバス・トイレ付（旧館は共同）。食事は共同キッチンで自炊となる。家賃は1学期（15週）当たり600,000ウォン（約65,000円）である。		
派遣人数	全学部から若干名（2・3・4年次生）	派遣期間	3月～6月または3月～12月、9月～12月又は9月～翌年6月

外国語担当教員の紹介

語学に関する質問は、語学担当の教員に聞いてみよう！

勉強などわからないことはオフィスパワーを利用して相談しましょう。各教員のオフィスパワーはポータルサイトで確認できます。(ポータルサイトログイン-「授業・履修」-「オフィスパワー照会」)

	教員名	担当提携校	
		長期留学	短期留学(海外語学演習)
英語	海老澤豊(法学部教授)	—	—
	和田忍(法学部講師)	ロンドン大学 SOAS カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学
	増田珠子(経済経営部教授)	—	—
	岩橋真知子(スポーツ科学部講師)	—	フィリピン中央大学
	T.Rucynski (グローバル教育センター准教授)	カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校 カリフォルニア大学サンディエゴ校	カリフォルニア大学サンディエゴ校
	木下裕太(グローバル教育センター准教授)	—	—
	須永隆広(グローバル教育センター講師)	—	—
	三上洋介(グローバル教育センター助教)	—	—
	L. Waller(グローバル教育センター助教)	—	—
第二外国語	ドイツ語	小林将輝(スポーツ科学部准教授)	ミュンヘン大学
		明石真和(経済経営学部教授)	—
	フランス語	山下尚一 (グローバル教育センター教授)	アンジェ・カトリック大学 パリ第4大学ソルボンヌ
	中国語	葉紅(グローバル教育センター教授)	聊城大学 国立台湾師範大学
	韓国語	朴昌明(法学部教授)	東西大学 延世大学
	日本語	杉本美穂(グローバル教育センター講師)	—

非英語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語)圏に留学を希望する場合、応募時に、該当する上記の外国語担当教員からの推薦書も必要になります。

語学検定試験の受験料補助

駿河台大学では、下記の表にある語学検定試験を受験した学生に同窓会から受験料補助が支給されます。詳細な情報はグローバル教育センター掲示板・ポータルサイト(ポタロウ)にてお知らせします。ぜひみなさんも挑戦して、語学力を磨きましょう！

言語	対象試験	級
英語	TOEIC(公開テスト・IP)	—
	英検	2・準2
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験	2～5
フランス語	フランス語技能検定試験	2～5
中国語	HSK中国語検定試験	1～6 口試中級
	中国語検定試験	2～準4
韓国語	韓国語能力検定 TOPIK	1～6
	ハングル能力検定	1～5
日本語	ビジネス日本語能力テスト BJT	—
	日本語能力試験 JLPT	N1・N2

秋学期にTOEICとHSKは学内試験も開催する予定です。

短期留学(海外語学演習)紹介

短期留学は、「海外語学演習」として、各学部のカリキュラムに配置されている4単位の授業科目です。

特徴

1

夏休み・春休みの3~4週間を利用して、提携機関の充実したプログラムへ参加します！

駿河台大学で開講している全言語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語）で、提携する海外研修機関があります！
語学プログラムのほか、観光ツアーや文化体験イベントなども充実しています。
プログラムの詳細は、『短期留学提携校』一覧表およびガイダンスで確認してください。

『海外語学演習』情報の入手先

- 留学リーフレット『New Adventures』
- ガイダンス（ガイダンス配付資料は、グローバル教育センターでも閲覧できます）
- シラバス（『海外語学演習』の各語学欄を参照のこと）
- 過去の先輩たちの「短期語学研修参加者アンケート」（グローバル教育センターで閲覧可）

2

履修登録と必要な手続きをすることにより、原則誰でも参加が可能！

履修登録をしていない学生は、参加することができません。
また、翌年度以降も何度でも参加することができます。
授業期間中に行われる事前指導（全15回）とセットで、帰国後は4単位が付与されます。

3

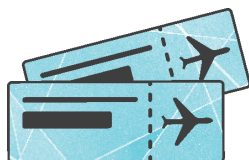
担当教員と、1学期間かけて綿密に準備！

夏休みに参加する場合は春学期に、春休みに参加する場合は秋学期に、担当教員が1学期間をかけて、留学手続きや語学学習、現地での生活などの事前指導を行いますので、安心して出発することができます！

4

5万円の奨励金を支給

留学にかかる費用は全額自己負担となりますが、5万円の奨励金を大学から支給しています。参加費用の目安は『短期留学提携校』の一覧表で確認してください。



参加までの流れ

まずは、必修の外国語科目をきちんと受講！

履修していない外国語圏に参加したい場合は、こうしよう！

基礎力をつける 「〇〇語と文化」（教養基礎科目）を履修。

「〇〇語演習」（自由選択外国語）を履修。

語学力をブラッシュアップ

いざ、「海外語学演習」へ

Step 1

『海外語学演習ガイダンス』に参加

「海外語学演習ガイダンス」は、3月末~4月初旬のガイダンス期間中に実施します。
詳しい日程は、「2024年度行事予定表」をチェック！

Step 2

『海外語学演習』を履修登録

履修登録期間に必ず履修登録を！（履修登録をしない場合、参加できません。）履修登録の方法が分からない場合は教務課またはグローバル教育センターへ。

Step 3

『第1回事前指導』に参加

新学期の授業開始週に行います。2回目以降の事前指導スケジュールを決定しますので、必ず参加してください。日程・場所は、ポタロウで確認してください。

Step 4

2回目以降の事前指導に参加

短期留学プログラムへの留学手続きや語学指導、現地生活のアドバイスなどを行います。決められたスケジュールどおりに準備をしていきましょう！

Step 5

出発

Step 6

帰国

担当教員へプログラム終了と参加の報告をしてください。
アンケートや体験報告会への協力もお願いします！

帰国後のオプション

- ▶ 「〇〇語演習」（自由選択外国語）で、さらに語学力に磨きをかけることもできます。
- ▶ もちろん、長期留学にチャレンジすることもOK！可能性を広げよう！

『海外語学演習』の事前指導内容はコレだ！

春学期授業計画			
第1回	海外語学演習プログラムの概要	第9回	日常生活のマナーと表現（1）
第2回	現地の社会と文化（1）	第10回	日常生活のマナーと表現（2）
第3回	現地の社会と文化（2）	第11回	手続き等の説明と指導（3） （航空券手配）
第4回	外国語でのあいさつと自己紹介	第12回	現地の地理・交通
第5回	手続き等の説明と指導（1） （入学申込）	第13回	大学に参加プログラムについて
第6回	旅行会話（1）	第14回	手続き等の説明と指導（4） （保険手続き）
第7回	旅行会話（2）	第15回	まとめ
第8回	手続き等の説明と指導（2） （ビザ申請）		

- 春期休業期間中に研修が行われる場合は、秋学期に履修登録・事前指導を行います。
- 表は一例です。参加する海外語学演習により、事前指導の内容は異なります。

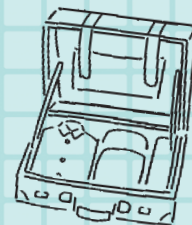
短期留学提携校

※表中の費用は、過去の実績に基づく目安として参照してください。
実際には、現地校の授業料や寮費の改定、通貨レートや航空券の価格変動等によって、変わります。

英語	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学 Kent州カンタベリー(英国) コース名:一般英語サマースクール 研修期間:8月(3週間) 研修費用:80万円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 世界遺産のカンタベリー大聖堂からほど近い歴史的な街の中心に位置し、初学者から英語を学べる数少ない英国の大学です。 	カリフォルニア大学サンディエゴ校 カリフォルニア州ラ・ホヤ(米国) コース名:Conversation and Fluency 研修期間:8月(4週間) 研修費用:US\$7,000前後(約100万円程度)(授業料・渡航費・現地滞在費用を含む) 太平洋を臨む広大なキャンパスで、自然な英語での会話やアメリカ文化を学ぶ。文法や語彙力の向上を図る授業に加えて、学生たちは他の留学生や現地学生、コミュニティの人々と構成される。UCSD 英会話リーダーと交流する機会もある。研修期間中は大学内の寮かホームステイを利用。治安も良好。 
英語	フィリピン中央大学 ビサヤ諸島パナイ島・イロイロ市(フィリピン) コース名:一般英語コース(General ESL コース) 研修期間:2月(4週間) 研修費用:40万円程度(授業料、寮費、1日3食込み) 費用が安く、TOEICなどの条件なしで参加できるプログラム。マンツーマンレッスンを中心に基礎的・実用的な英語力の向上を目指し、最後の1週間はインターンシップを経験する。研修期間中は英語研修センターの寮に宿泊。 	ウィーン大学 ウィーン(オーストリア) コース名:国際ドイツ語コース 研修期間:8月(4週間)もしくは9月(3週間) 研修費用:50万円程度 外国人のためのドイツ語コース。レベルは1から6まで用意されており、初心者も参加可能。学生寮に宿泊。月～金の午前中に授業。午後には美しいウィーンの街の散策ができ、週末には観劇や美術館訪問、それに遠出もすることができる。 
フランス語	パリ第4大学ソルボンヌ パリ(フランス) コース名:フランス語・フランス文明講座(夏期講座) 研修期間:8月(4週間) 研修費用:55万円程度(参考・2023年度) 外国人対象のフランス語講座として世界的に有名。語学力によってクラス分けがされるので、無理なく受講できる。主に実用フランス語研修と発音矯正。希望者はフランス文化・文明についての講演も受講が可能。 	アンジェ・カトリック大学 アンジェ(フランス) コース名:夏期講座8月コース 研修期間:8月(4週間) 研修費用:65万円程度(授業料・渡航費・現地滞在費用を含む)(参考・2023年度) 最初に語学力に合わせてクラス分けされる。入門クラスから6段階のレベルに分かれる。各クラス10～20名程度、文法、会話、語彙、発音をバランスよく学べるようプログラムされている。週末には、スポーツ活動、映画鑑賞、文化的催し、日帰りバス旅行なども楽しめる。 
中国語	北京師範大学 北京(中国) コース名:夏季短期コース 研修時期:7月下旬より3週間と4週間の2コースあり 研修費用:30万円程度、留学生宿舍の宿泊 5名～15名の少人数クラス、初心者でも無理なく学べる。課外活動として、京劇や雑技の鑑賞と万里の長城、天壇公園など訪れる。 	国立台湾師範大学 台北(台湾) コース名:短期語学研修 研修期間:8月上旬より3週間 2月上旬より3週間 研修費用:35万円程度(2023年実績)、2人～3人部屋 レベルに応じた10名以下の少人数クラス。語学授業以外に文化関連授業や行事も充実している。 
中国語	リャオチン 聊城大学 山東省聊城市(中国) コース名:中国語短期研修プログラム 研修期間:8月下旬より2～3週間程度 研修費用:22万円程度(授業料、宿泊料免除) 長期留学では本学と20年以上の交換留学の実績がある。2019年度より海外語学学習の受け入れを開始。手ごろな費用で行きやすい機会を提供。研修期間中は、午前中に授業、午後は交流の時間となる。中国は9月から新学年のため、キャンパス内は賑わい、他の国の留学生や地元の学生と交流することができる。宿泊は留学生寮。キャンパス内外の食堂、レストランが充実。自炊もできる。日本人がほばいないので、本気で中国語の力を身に付けたい学生に最適。 	トンソ 東西大学 釜山(韓国) コース名:文化体験研修 研修期間:2月中旬から2週間程度の予定 研修費用:30万円程度 2024年度から新規開設予定。月曜日から金曜日まで午前3時間、午後4時間の研修が行われる。韓国語学習については初級者も学べるプログラムになっており、文化体験は伝統工芸・料理・テコンドー体験、釜山・周辺地域観光など豊富である。また、東西大学の学生との交流会もある。 

STUDENT REPORT

留学して経験したこと、得たもの…
2023年度交換・派遣留学生の留学体験記



一年間の韓国留学を通して



左から2番目が徳山さん

東西大学(韓国)

交換留学生

留学期間：2023年2月～2024年1月
心理学部4年 東海大学菅生高等学校

とくやま あすか
徳山 聖

私は、2023年2月から2024年1月まで駿河台大学の長期留学制度を利用して韓国に留学をした。交換留学生として東西大学の日本語学科に所属し、現地の韓国人学生と一緒に正規の授業を受けた。

留学をして、韓国人の友達をたくさん作ることができた。日本語学科には、日本人と韓国人が交流を持てる場が多いため、自分から声をかけていけば気楽に返してくれた。また、日常の全てが韓国語なため、聞く力と話す力が向上した。

留学中に面白かったことは、大学の文化祭とMTだ。韓国の大学の文化祭は歌手やアイドルが大学で公演をし、花火が打ち上げられることで有名だ。日本の大学とは違った雰囲気面白かった。MTは、昼から翌日の朝までゲームをしながらお酒を飲むという韓国大学生の楽しみな行事の1つだ。留学に行く前から参加してみたかったため、とても楽しい思い出になった。

留学中、語学力向上のためにしたことは、積極的に人と話すことだ。また、間違えてもいいから韓国語を使うようにした。

留学前と留学後比べて大きく変わったことは、語学力だ。教科書に載っている言葉だけではなく、会話的な文法や語彙の数が格段に増えた。さらに韓国へのイメージが変化した。韓国人の性格や生活に対する考え方が良くも悪くも変わった。

私は留学中にチャレンジしたが2つある。1つ目が、サークル活動だ。留学中に学校公認の国際交流サークルに参加し韓国人学生と一緒に留学生を空港でピックアップし学校に連れてい



くというボランティア活動を行った。2つ目が、韓国語能力試験(TOPIK)だ。11月に試験を受け上級である5級に合格した。

留学をしたことによって、実家を離れ寮生活をするようになった。寮生活を通して自分で身の回りの世話をしたり問題を自分で解決しなければならなくなった。そのため、今までは分からないことがあればすぐに人に聞いていたが、人に聞く前にまずは自分でどうにかしようという考えができるようになった。韓国の常識と日本の常識は基本同じだが、韓国人の方が少し自我が強い気がする。それは良い点でもあり、悪い点でもあったと感じた。自我がある人々のなかで生活をしたことにより、自分自身も何かがしたのか、自分の意見や考えをしっかりと述べるようになった。さらに、性格が変化し気が早くなった。(悪く言うとせっかちな性格になった。)



シェアハウスと学校生活から



後列右から3番目が山崎さん

カリフォルニア大学サンディエゴ校 (アメリカ)

派遣留学生

留学期間：2023年4月～2023年9月
メディア情報学部3年 国際学院高等学校出身
やまざきかずき
山崎和希

私は2023年3月から9月にかけて、アメリカカリフォルニア州サンディエゴに語学留学として訪れました。現地では多くの人と出会い、多くの経験を積むことができました。今回はそれらの中でも、特に印象に残っているシェアハウスでの生活と学校生活について取り上げ、振り返りたいと思います。

初めにシェアハウスでは、初めて多国籍の方と共同で生活をする経験を得ました。私が訪れた当初は、フランス人・韓国人・中国人のルームメイトが居住しており、まだ英語もままならない中でコミュニケーションを取らなければならませんでした。しかし、英語力の向上と異文化に触れ合う意欲を持って積極的に会話を行いました。時には価値観や文化の違いから、不満を持ち合うこともありましたが、一緒に遊びに行ったり、パーティーを開いたり、たくさんの時間を共にすることができました。この経験は英語力の向上はもちろん、自分自身への成長にも繋がられたと思います。

次に学校生活では、現地でしか受けられないクラスで多くの友人を作ることができました。クラスでは主に英語を学び、時にはプレゼンテーションやスポーツなどのアクティビティを行いました。ネイティブの先生から学ぶ英語はと

てもためになり、日常的に使えるフレーズや発音など多くの実用的な英語を学ぶことができました。また様々な国の学生がいるため、異文化交流を深め、多くの友人を作ることができました。学校で一緒に過ごすだけではなく、休日にも観光地と一緒にいたり、サーフィンや夜にお酒を飲んだり、たくさんの素敵な思い出を作ることができました。そんな人達に出会えたから、留学中に落ち込むことなく楽しい時間を送れたのだと感じます。

そしてこれらの経験と思い出を作る機会をくれた両親とグローバル教育課のみなさんに感謝し、今後も社会で活躍できる人材になれるように精一杯努めたいと思います。



生きた英語と成長

私は留学に行くにあたり、英語力の向上はもちろん、自分をよく知ること、そして将来について考えるという三つのことを目標としていました。不安なことばかりでしたが色々な事に恐れずに挑戦し、成長した姿をルシンスキー先生に見せられるように沢山努力しようと決めました。結論から言うとやりたかったことは全てできました。

私は現地の友だちを沢山作りたかったのでチャンスがあれば多くの人に自分から声をかけ友だちを沢山作りました。まず会話練習のクラスにアルバイトで来ていた女性に声をかけてお友達になり遊びに行きました。そこから仲良くなり、彼女の友だちグループに私を入れてくれ、9月に帰国するまでカラオケに行ったり、ご飯を食べに行ったりしました。さらにホストファミリーと行った教会のパーティーで知り合った同い年の女性とも友だちになり、彼女の親友達の幼なじみグループに入れてもらいたくさん遊びました。会話のスピードが速く聞き取れませんでしたでしたが分からないときにこれなに？と聞いたり、このように表現したいときは何というの？と聞いて、英語力を向上させました。主にその友人達と時間を共にしたことで現地のイングリッシュスピーカーの方が使う生きた英語を勉強できたことがとても嬉しかったです。

さらに学校では世界中の人と出会う事ができて文化の違いを感じました。その中でもカザフスタンの人達と仲良くなってカザフスタン語を勉強しました。難しかったけれど貴重な経験が出来ました。また、韓国人の女性の方と友だちになったときに、去年朴先生の韓国語演習の

授業で習った韓国語を使用して会話することが出来て楽しかったです。

本当にこの留学では様々なことを学ぶ事ができました。その中でも精神面において大きな成長を感じました。なにが辛いこと、上手いかわないことがあったとき、以前の私はどうしようと焦ったり、ただ落ち込むことが多かったです。でも今の私はしっかりと今の状況とやらなければいけないことを考えて冷静に対処することが出来るようになりました。感情にコントロールされるのではなく、感情をコントロール出来るようになりました。

将来については、インターナショナルスクールに就職したいと思い、今はインターナショナルスクールでアルバイトをしながら色々な事を勉強しています。そしてワーキングホリデーを利用して海外に行きたいと思っています。

この留学というお金では買えない貴重な機会をくださったグローバル教育センターの方々、ルシンスキー先生、そして両親。留学中に支えてくださったゼミの相馬先生に心から感謝しております。



後列右側が葛野さん

カリフォルニア大学サンディエゴ校 (アメリカ)

派遣留学生

留学期間：2023年4月～2023年9月
心理学部3年 立川女子高等学校出身

かつのもえ
葛野桃英



New Challengers 2024

～2024年度、新たな冒険者たち～

2024年度留学を開始する送り出し留学生が
出発に向けて意気込みを語ってくれました。



～違う景色を感じるために～

アンジェ・カトリック大学(フランス)

派遣留学生

留学期間：2024年9月～2025年3月
法学部2年 山梨県立白根高等学校出身
おおの こうしん
大野煌心

私は半年間の留学で日本ではできない経験を積みたいと思います。留学は私にとっては貴重かつ成長に必要な機会だと考えています。日本を飛び出し異文化の中で生活することで様々な刺激を受けることができます。言葉の壁、生活様式の壁など自分の想像することの何倍もの予想外なことが起きると思いますが、それが大きな経験値として自分の糧になると思っています。またそれを乗り越えたときには自分の中の新たな能力に気づくことができます。現地に順応していくためには自己を見つめなおすことも重要だと考えており、そこから新たな状況に適応することで柔軟性や創造性を養うことができます。さらに学業面では言語の習得のみならず、専門知識やその国ならではの考え方なども学びたいと思います。そして豊かな人間関係を育むことも経験したいです。共に学び、困難を乗り越えることは自分のかけがえのない宝物となります。異なる背景や文化、考えを持つ人との出会いや生活は人間性を豊かにし共に成長できる機会になります。国際的な視野を持ち、多様な文化や価値観を理解することができれば今後のグローバル化が進んだ社会にも対応可能で活躍できます。町に一步出るだけで文化を知れる、お店に入っただけで数えきれないほどの学びがある、会話一つで自信になる。そんなところで生活ができることに対して気持ちがすでに高揚しています。今は留学中に少しでも自分のしたいことや、

気持ちなどを表せられるようにリスニングやスピーキングをはじめとする学習をしています。半年という限られた時間を充実させるためにできる限りの準備をしていき、それを生かすような生活が送れたらと思っています。そして自分だけでなく、周りや駿河台大学に還元できることが少しでもあればいいと考えています。



「後悔のない留学生活を送ります!」

カリフォルニア大学サンディエゴ校
(アメリカ)

派遣留学生

留学期間: 2024年3月~2025年2月
心理学部4年 足利大学附属高等学校出身

いのあかり
猪野朱里



私は中学生の時にオーストラリアにホームステイしたことがきっかけで海外や英語に興味を持つようになりました。高校生ではアメリカに交換留学したり、韓国の交換留学生のホストになったりと今まで短期間ではありますが、ほかの国の人との交流をしてきました。今回の留学では1年間という経験したことのない長い時間をアメリカで過ごすため、不安と楽しみがとても入り混じっています。

そんな私が今回の留学でかかげる目標が三つあります。一つ目は英語力の向上です。高校生の時のアメリカ留学で私は全く英語が話せず、ジェスチャーや翻訳アプリを使って過ごしていました。そのため英語を積極的に話せず自分で話してコミュニケーションをとる機会を失いとても後悔しています。そのため今回の留学では留学前の勉強はもちろんですが、留学中は日本語を使わないことを自分のルールにして過ごそう

と考えています。英語で自分の意思を伝える楽しさをたくさん経験したいと思います。

二つ目は文化に浸ることです。今までは海外の文化を見て回り経験することが主でしたが、今回は一年間アメリカで過ごすため、その国の伝統、習慣、食べ物、音楽、そして人々との交流を通じて、私は文化の魅力を深く理解し、体験したいと思っています。例えば授業中の会話や、パーティー、クリスマス、ハロウィンなど、その国ならではの過ごし方を体験し深く浸りたいと考えています。

三つめは友達をたくさん作ることです。私が行くサンディエゴ校はいろいろな国からの留学生が多く多様な人たちがいます。私はいろいろな国の人と友達を作ることとてもワクワクしています。さらに私は学生寮に住む予定なのでルームメイトと親友になれたらいいと思っています。

聊城大学での留学に向けて

聊城大学(中国)

交換留学生

留学期間: 2024年2月~2025年1月
心理学部3年 浦和学院高等学校出身
ほりきりゆうすけ

堀切雄介



私は、2月から中国の山東省にある聊城大学に一年間留学をします。留学の準備や勉強を進めていると、気づけばもう残り1ヶ月ほどになり、自分が留学に行くという実感を今になってやっと感じられるようになりました。私は、この大学に入り、1年生の頃から自分の専攻である心理学と並行して、中国語を学んできました。中国語を学び始めたのは大学に入ってからで、その頃は全くの初心者でしたが、中国語を学び、留学をしたいという夢があったため、単位にはならないものの、他学部中国語の授業に参加させてもらい、少しずつ語学力の向上に向けて学びを続けてまいりました。それから、色々なチャンスに恵まれ、1年生の終わりに台湾へ短期留学に行き、2年生の夏休みには大学生訪中団として中国への訪問をし、そして、12月には外国語プレゼン大会に参加しました。留学に向けた準備は、自分にとって初めてで慣れないことも多く、特に、今学期に履修した心理学科目と留学準備の両立には、多くの工夫が必要でした。そんな中、大学の方々

や家族、親戚も含め、様々な人に支えられ、ここまでやって来られたことに多くの感謝の気持ちを持っています。

私は、留学という貴重な時間を得ることができて本当に嬉しく思っています。この時間は、自分の人生にとって大きな意味を持っており、物事を見る視野を広げ、その場所の本当の姿を認識することができ、言葉も文化も違う世界で生き抜く力を鍛えることができます。特に、実際にその場所に行かなくては知ることのできないものや自分から歩み寄らなければいつまでも理解できないものはこの世界に多くあり、それらを理解することはこれから先の未来にとって特に重要なものだと感じています。留学してからの一年間が自分の人生にとって重要な時間となるように、また、社会や身近にいる人たちの役に立つ人間へ成長できるように、留学先での日々を大切にしながら、積極的な学ぶ姿勢を持って時間を過ごしていきたいと思っています。



私達の日本留学記



2023年度、受入留学生からの留学感想



ミュンヘン大学(ドイツ)

交換留学生

留学期間：2023年4月から2024年3月

GOESSMANN DENISE
JUSSARA

(ゲスマン デニス ジュサーラ)

前列一番左側がデニスさん

ドイツからの交換留学生として、駿河台大学で一年間を過ごし、多くのことを経験しました。日本の四季を全て体験し、日本の学生生活を存分に楽しむことができました。

駿河台大学では、日本とその文化を間近で体験する多くの機会を得ることができました。浴衣を着る体験や茶道に参加する機会がありました。特に、自分で抹茶を点てるのは楽しい体験でした。生け花と書道の体験では、日本が持つ心を落ち着かせる芸術に改めて気づかされました。書道は、美しいものを創り出す楽しい体験であり、正しい筆の持ち方についても学ぶことができました。お祭りへの参加は、日本の文化を深く体験する機会となりました。そこでの雰囲気は独特で、西洋文化の

駿河台大学での一年間は、私にとって本当に特別な体験でした。大学生活の中で、入間市や飯能市での祭りに参加する機会があり、その華やかさと活気には本当に感動しました。

さらに、大学での茶道、生け花や書道も私の日本での生活に新たな彩りを加えました。初めて挑戦することが多く、上手くできなかったこともありましたが、その度に何か新しいことを学べたと感じています。

学問的には、Unityを使用したゲーム制作のセミナーが特に印象深かったです。日本語の難しさに直面しながらも、クリエイティブなプロジェクトに取り組むことで、言語だけでなく技術的なスキルも向上しました。ドイツの大学と比較して、日本の大学の授業スタイルは高校に似ていて、出席と参加がより重視されているように感じました。言語の面では、日本にきた頃より日本語の上達ことができました。最初は基本的な会話すら難しかったのですが、毎日の生活の中で徐々に自然に話せるようになってきました。特に、現地の友人との会話は、言語力だけでなく文化的な理解も深めてくれました。

食文化に関しては、日本の多様な料理に魅了されました。特に刺身やホタテ、そしてラーメンの美味しさには感動しました。日本では肉料理が思ったよりも多く、最初は魚や豆腐がもっと主流だと思っていました。

日本をたくさん旅行しました。特に、大学と一緒にいった北海道旅行は最高でした。また、最近青木ヶ原を訪れて洞窟を探検したのですが、その神秘的な体験は忘れられません。洞窟が食品の保存や絹の生産にどのように利用されていたかを学ぶ

何ものとも比較できませんでした。

駿河台大学では、さまざまな授業に参加することができました。その中には、まるで自分がその一部であるかのように組み込まれたセミナーもありました。実習や合宿にも参加することができ、非常に楽しい時間を過ごしました。小学校で体力テストの測定を手伝うなど、全く新しい経験をし、日本の小学校がどのようなものか、そしてどのような活動や振る舞いが標準であるかを、ドイツでの自分の経験や記憶と比較して見ることができました。合宿では、初めてフェリーに乗り、日本の海で泳ぎました。

体操演技同好会での関わりが最も深かったです。ここでは、新しいスポーツを試み、友人たちと共に成長する素晴らしい機会を得ました。ドイツでは成人後に体操スポーツを始めることが一般的ではないため、この機会を得られたことを本当に幸運に思います。サークルのメンバーには、この一年間、自分が快適に過ごせたことを特に感謝しています。彼らは私を一員として迎え入れ、多くを教えてくださいました。サークルのおかげで、私の日本語能力を大いに向上させることができました。さらに、人生で初めてスポーツ大会に参加し、学んだことを披露する機会もありました。一人だけでなく、チームとして競ったことは、私にとってかけがえのない経験であり、素晴らしい思い出となりました。

この一年は冒険に満ちており、それをこれほど充実して過ごせたのは、駿河台大学の人々(生徒も教師も)が常に開かれた心で、寛大に接してくれたのおかげです。皆と一緒にたくさんの美しく楽しい思い出を作れたことを心から感謝しています。



ミュンヘン大学(ドイツ)

交換留学生

留学期間：2023年4月から2024年3月

DEHNER JULIUS

(デーナー ユリウス)

ユリウスさん

のは非常に興味深かったです。

友人関係においては、思った以上に簡単に友達ことができました。体操演技同好会に参加し、ドイツ語の先生たちの紹介で様々な人と出会い、文化や言語の壁を越えた友情を築くことができました。ドイツの体操に関するプレゼンテーションで通訳を務めた際は、大きな挑戦でしたが、皆の支えがあって乗り越えることができました。

家族と離れて生活することで、自立し、成長したと感じています。

そして今、日本での留学生活も終わりに近づき、家族に再会することを心から楽しみにしています。

日本での一年間は、挑戦と発見に満ちた貴重な時間でした。ここでの経験は、私の人生に大きな影響を与え、成長する機会を提供してくれました。



ミュンヘン大学(ドイツ)

交換留学生

留学期間：2023年4月から2024年3月

THIELE NICOLAS

(ティエ・ニコラス)

左側手前がニコラスさん

私はドイツのミュンヘン大学で日本学と哲学を学んでいます。2023年4月から1年間、駿河台大学のメディア学部で学びました。

日本にきたとき、すぐに気づいたことがあります。それは、皆が信じられないほど親切だということです。空港の人、大学の人、コンビニの店員、本当に全員がとても優しいです。

大学では、サークルやクラブのシステムがとても気に入りました。私はソフトテニスのサークルに参加し、共通の活動を通じて、最初から人々と知り合うのが全く難しくなかったです。また、週に数回会うことで、より親しくなることができました。駿河台では、マスコットの「しゅんたくん」も大好きでした。しゅんたくんのグッズはすべて購入し、旅行にも必ず連れて行きました。また、グローバル教育セ

ンターでは、生け花、書道、茶道など、典型的な日本の活動にも多く参加することができました。1年間の滞在で学んだことがあります。それは、未来は予測できないということです。特に3つの点でそれを感じました。

まず、日本で中国文化にこれほど触れることになるとは思いませんでした。日本語の授業で出会ったとても親切な中国の同級生から多くのことを学び、一緒に中国料理を食べ、実際に彼らと中国へ旅行しました。留学前は、中国を旅行することや、中国の人々とこんなに多くの接点を持つことになるとは思っていませんでした。

もう一つは、「木のおもちゃゼミ」の訪問です。大学で参加した活動の中で最も楽しいものでした。そこでは、一緒に木のおもちゃをデザインし、自分たちで作りました。他の学生や教師もとても親切で、何かを自分で作ることがとても楽しかったです。このゼミに参加したのは実は大きな偶然でした。「おもちゃ」を「お茶」と聞き間違え、間違いに気づいた時には既にゼミに登録されていました。木のおもちゃには本来興味がなかったのに、このゼミが結果としてとても素晴らしいものになったことに驚きました。

最後に、私がホームシックになるとは思いませんでした。ドイツでの生活に飽き飽きしており、長年旅行もしていなかったので、日本への旅行前はドイツのことを文字通り見たくなかったです。しかし、日本にいた間に、実はドイツがいかに素晴らしいかを再発見しました。ドイツでの運転、食事、家族や友人、そして私の猫たちが恋しくなりました。日本での滞在が楽しかったにもかかわらず、ドイツに対して新たな魅力を感じるようになったのです。



グローバル教育センター